

一般質問

9月4日、5日、8日の3日間にわたって一般質問を行いました。一般質問とは市政全般について市の考えなどを聞くもので、25人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。
会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)

録画映像はこちら



子ども育成、教育など

育メタバースを活用した不登校児童生徒への支援の研究を
新風

問 全国でも、多種多様な手法で学校を休みがちな児童生徒への支援が図られている。メタバースを活用した伴走支援について、市は積極的に研究していくべきと考えるが所見を問う。

答 メタバースを活用した不登校児童生徒への伴走支援は、オンライン上での居場所としての機能はあるが、参加状況等が確認できないという安全管理等の課題もある。他都市の動向を踏まえ、メタバース等の新しい仕組みも含め支援の在り方を検討していく。

※メタバース
英語(超越(meta))の宇宙(universe)を組み合わせた造語で、インターネットを利用した「仮想空間」で交流やサービスを楽しむ場所

育教員の働き方改革は市が責任を持って取り組むべき
自民

問 特別支援教育・多文化教育等の新しい対応や保護者・地域からの多様な期待等により教員の働き方はより厳しくなっている。教員が授業や生徒指導に専念

できる環境づくりこそ市の責任ある働き方改革と考えるが所見を。

答 子どもたちの可能性を最大限引き出し、成長を促すには、学校、家庭、地域、行政が連携し、役割と責任を果たす必要がある。今後とも、教育委員会と連携し、教員が生き生きと子どもと向き合える環境づくりを推進していく。

育障がいのある子どもが十分な教育を受けられる環境整備を
無所属

問 発達に特性がある子どもの生きづらさが拡大しないサポートが重要。障がいのある子どもが十分な教育を受けられる環境整備について、これまでの取り組みの評価と今後の充実を問う。

答 自閉症・情緒障がい特別支援学級の大幅な増設などの整備に取り組むとともに、特別支援学校の新設により職業教育に重点を置いた教育で就労の幅を広げている。今後とも、一人一人の教育的ニーズを踏まえ、多様な学びの場の整備に努めていく。

育誰一人取り残さない教育を実現するための実態把握調査を
無所属

問 誰一人取り残さない教育を実現するために、子ども

や保護者のニーズをつまびらかにして必要十分な支援メニューを検討するための大々的な調査が不可欠と考えるが所見を問う。

答 教育における課題やニーズが多様化する中で、教育施策を推進するには、これまで以上に児童生徒や保護者の実態やニーズ等を把握することが重要であり、課題や対象者により適切な方法をとりながら、きめ細かく把握していくことが必要と考えている。

条件については、他都市の状況なども踏まえながら、地方公務員法に基づき適切に対処していく。

子ども産後ケア事業のさらなる充実を
新風

問 核家族が進む本市において、産後ケア事業のニーズはとて高く、産後を社会全体で支える仕組みづくりが必要である。今後、産後ケア事業のさらなる充実について、どのように取り組んでいくのか。

答 産後ケア事業については、これまで受け皿の確保や利用者負担の軽減など事業を充実してきたが、引き続き、質の担保を図りながら、受け皿の確保に加え、ICTの活用など利用しやすい事業となるよう取り組んでいく。

子ども「小一の壁」を社会全体で受け止める取り組みを
公明

問 小学校進学に伴い、生活スタイルが変わることで仕事と育児の両立が難しくなる「小一の壁」を、家庭だけでなく社会全体で受け止めることで、子育てのしやすさをさらに実感できる市になると期待するが市長の所見を。

答 市では社会全体で子どもと子育て家庭を見守るとともに、仕事と子育ての両立支援などに、安心して子育てできる環境づくりを進めており、引き続き、教育委員会と連携し、子どもや子育て家庭に優しいまちづくりに取り組む。

子ども子育て支援体制の強化を
市民ク

問 子育てには家族を含め周りの協力が必要である。乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、交流し、子育ての不安や悩みを相談できる場はあるか。また、市役所でもシニア世代の育児参加を促進する孫休暇の導入検討を。

答 子どもプラザを市内14カ所に、公民館などに地域の見守りのもと子育て交流サロンを開設している。また、市職員の勤務

産後ケア事業
※産後ケア事業
出産後、心身のケアや育児のサポートを行うため、自宅や医療機関などで、助産師などの専門職が育児相談や母親の体調管理などの支援を行うもの

跡の活用についてさらに地域や関係機関から意見を求めていきたい。

子ども祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を
無所属

問 祭り・行事等の無形民俗文化財を保存・継承していくための課題となる、自治を支える核となる住民への支援について、地域コミュニティ保全の視点での施策が不十分と考えるが所見を。

答 無形民俗文化財の保存・継承を担う地域の活動は重要であり、博多祇園山笠等の地域団体の支援を行っている。この支援を郷土愛の醸成や地域の活力につなげ、歴史・文化資源の魅力を発信できるように、引き続き、無形民俗文化財の保存・継承に取り組む。

文化祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を
無所属

問 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

答 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

文化祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を
無所属

問 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

答 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

産後ケア事業
※産後ケア事業
出産後、心身のケアや育児のサポートを行うため、自宅や医療機関などで、助産師などの専門職が育児相談や母親の体調管理などの支援を行うもの



国史跡吉武高木遺跡「やよいの風公園」

Sを活用して市の魅力を発信し、多様な国や地域の人々が訪れるよう観光・MICEの振興に取り組む。

子ども博多港における新たな日韓航空路の誘致に取り組むべき
無所属

問 日韓航空路は30年以上にわたる、日本と韓国、本市と釜山広域市の人的交流の一翼を担ってきた。クイーンビートルの撤退は非常に残念であり、今後、航空路誘致に取り組んでいく必要があると考えるが所見を問う。

答 博多港と釜山港を結ぶ船舶交流の一翼を担ってきた航空路であることを踏まえ、今後、実績のある船会社と協議を行うなど、航空路誘致に向けて取り組んでいく。

文化祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を
無所属

問 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

答 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

文化祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を
無所属

問 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

答 祭りの保存・継承の核となる地域コミュニティへの支援を

産後ケア事業
※産後ケア事業
出産後、心身のケアや育児のサポートを行うため、自宅や医療機関などで、助産師などの専門職が育児相談や母親の体調管理などの支援を行うもの

まちづくり新天町・パルコ周辺街区等のまちづくりへの支援を
自民

問 新天町・パルコ周辺街区等の再開発については、天神の中心部にふさわしいまちづくりを目指し、官民が連携して取り組まれない。市としても国と補助制度活用の協議を進めるなど、しっかり支援されたいが所見を問う。

答 公共性の高い都市基盤の創出に当たっては、官民連携し進める必要がある。建物の耐震性向上や天神と大名をつなぐ通路機能の継承、新たな地下歩行者ネットワーク形成に向け、事業が円滑

産後ケア事業
※産後ケア事業
出産後、心身のケアや育児のサポートを行うため、自宅や医療機関などで、助産師などの専門職が育児相談や母親の体調管理などの支援を行うもの